

七月例会御案内

(平成三十年・通算第三七七回)

時代を刷新する会

御案内

七月十三日(金)十一時半入館可、正午～午後二時半 衆議院第一議員会館地下一階第五会議室
講題「外交青書」の内容解説!

講師 川埜 周(かわの しゅう) 外務省総合外交政策局・政策企画室長

六月十二日、シンガポールでの米朝首脳会談、トランプ大統領と金正恩国務委員長との会談は、世界中の注目を浴びました。第二次世界大戦前は、船旅や列車なので、世界の首脳が会談するのにも大変でしたが、戦後は、航空機の性能向上・巨大化とともに、国際連合はじめ多くの国際会議が開催され、各国首脳も短時間の飛行で、国際会議に出席できるようになり、世はまさに首脳外交華やかな時代となりました。

安倍晋三総理も、総理就任以来、国会日程の合間を縫って、世界中を飛び回っている感があり、「外交の安倍」といわれております。そうした時、このたび、外務省が「平成三〇年版外交青書」を発刊しましたので、外務省総合外交政策局内の御担当官トップに、御解説をいただきます。

(注)「白書」は、イギリス政府が行政の実情報告書に白い表紙を使ったことに始まる。しかし、「外交報告」についてはその表紙が青色であったのに倣い、わが国でも「外交青書」という外交政策について、貴重なお話がかがえらると思えます。奮っての御参加を! (清原記)

□ 当日会費(昼食付き) 会員は三千元、非会員五千元。

時代を刷新する会 <http://www.jidaisasshin.jp>

七月十二日(金)の月例会に

電話 03-3272-4320
FAX 03-3507-8587

出席 欠席 (いずれかに○印を)

御芳名

当日連絡先 080-8836-6203 重田

貴方様のFAX
メール

080-9292-2620 高津
(メール不可・通話のみ)

▽七月十一日(水)までに出欠の御連絡賜りたく。

◎ 御報告

この春から、月例会は、時局・政局上、北朝鮮問題、韓国情勢、トランプ政権、中国情勢について、また、生体電磁学の権威でもある小谷誠先生(工博:東京電機大学名誉教授・元同大学学長)に、「脳と心臓を学び、健康寿命を伸ばしましょう!」と題して、御講話いただきました。その御講話の要旨は、まず、「健康寿命」とは、日常的・継続的な医療・介護に依存せずに、自分の心身で生命を維持し、自立した生活ができる生存期間をいうと定義し、また、「老化」とは、時間経過に伴って起こる臓器の縮小、組織の衰え、組織成分の変化の過程であり、「特に、加齢に伴う臓器の重量低下のうち、注目すべきは、免疫機能を司る胸腺の急激な低下である」とされ、お若いころ、米国マサチューセッツ工科大学で、人体から発生する微弱な磁気を計測して、脳、心臓、肺の病気の診断を行う研究を行ったことに始まった。心電図は、心臓の磁界を測定するものだし、脳波は、脳の磁界を測定するものだ、と説明された。

そして、特に、脳の組織の図形を大写しされ、人間の脳は、胎児の時から発育し、小中学時代は一日約二〇〇万個の割りで発達し、二〇歳過ぎに完成する。そして、四〇歳頃から減少し初め、六〇歳を過ぎると一日約三〇万個の割合で死滅するのが一般である。また、使われない脳細胞は育たないけれど、反面、脳細胞は使えば使うほど増殖する。人間にとって特に大切なのは、額のすぐ後ろにある「前頭前野」の脳細胞である。ここが、思考を司る脳の司令塔なので、ここを鍛えれば、仕事に対する意欲も増し、決断力や実行力が生じ、認知症になりにくく、何歳になっても、社会で活躍することができるとも、もし、老年期で気力を失っている方は、毎日五分ほど音読をする。毎日十分程度簡単な計算をすると脳が回復する等々のお話があり、大層勉強になった。

▽「時代を刷新する会」とは (清原記)

「何事も人類・国民のためになることは、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸信介元総理がそうであったように、超党派・超派閥で、真に国を憂える有志によって構成されています。八つの部会と、五つの委員会有り、これまでに百三十七本の要請書を時の政府に提出している。第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄衆議院議長、第四代会長の塩川正二郎元財務大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員。現在、衆議院議院運営委員会理事・自民党国会対策委員会副委員長が就任している。

▽事務局電話(03)3272-4320 専務理事・清原淳平、総務 重田典子、高津優介